

科目名	臨床医学総論Ⅱ ②			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	30 回	時間数	60 時間 2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年 前期
<b>【授業の目的・ねらい】</b> 現在の医療現場では多くの医療職が関わるのが特徴である。臨床工学技士はこの「チーム医療」を担う医療職の一員として、患者の情報を共有するための医学的知識が必須である。また検査や治療により深く携わり診療の補助を担うためには疾患に対する理解が必須となる。							
<b>【実務者経験】</b> 臨床工学技士として福岡市立こども病院等で、新生児や小児の人工心肺業務や呼吸・集中治療室業務に従事経験。							
<b>【授業全体の内容の概要】</b> 主に外科系疾患の原因と病態変化、検査、治療などについての概要を解説する。							
<b>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</b> ・外科系疾患の原因と病態について概要を説明することができる。 ・各種検査値、疾患と治療方針についての知識を身につける。							
回数	講義内容						準備物(教材)
16	胃腸系疾患についての知識を身につける						
17	肝疾患の原因と治療について説明できるようになる						
18	胆道、膵臓疾患についての知識を身につける						
19	集中治療における基本的知識について説明できるようになる						
20	ICUでの患者管理についての知識を身につける						
21	救急医療とICU治療における臨床工学技士の視点を身につける						
22	麻酔の目的と概要について説明できるようになる						
23	麻酔法とモニタリングについての知識を身につける						
24	免疫の概要とアレルギー疾患について説明できるようになる						
25	生体における免疫系と免疫不全について説明できるようになる						
26	外傷と関連病態についての知識を身につける						
27	多発外傷についての知識を身につける						
28	眼科疾患の概要と治療についての知識を身につける						
29	皮膚科疾患の概要についての知識を身につける						
30	授業全体のまとめと復習を行い、筆記試験の準備を整えることができる						
定期筆記試験							
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> ・臨床工学講座 臨床医学総論 第2版、篠原一彦 ほか、医歯薬出版株式会社 ・臨床工学技士標準テキスト 第3版、小野哲章、金原出版株式会社							
<b>【準備学習・時間外学習】</b> ・事前に教科書に目を通して講義に臨んでください ・病名、診断と治療を関連づけて覚える必要があります。十分な復習を行ってください。							
<b>【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】</b> 試験の結果を100点満点として成績を評価する 中間テストを40点、定期試験を60点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する							